

卒業生による講話

講演内容 「名古屋港管理組合の職場紹介について」

講演者 名古屋港管理組合 施設事務所 電気係 係長 山下将典氏
(平成 11 年 3 月 電気工学科卒業)

12 月 6 日 (水)、電気工学科の学生を対象とした、卒業生による講話を行いました。講義をしていただいた山下氏は、本校電気工学科を卒業後、名古屋港管理組合の建設部で電気係として勤務されております。

電気工学科は、電気設備管理技術者を育成する学科です。この業務を行うためには様々な資格が必要であり、第二種・第三種電気主任技術者、エネルギー管理士などの資格取得を目指します。これらの資格を取得すると就職の選択肢が多くなります。その中の一つが、山下氏のような「特別地方公共団体の職員」です。本日は、その業務内容を紹介していただきました。

名古屋港管理組合は、名古屋港を国際港湾として開発・発展させるため、愛知県及び名古屋市を母体とし、1951年に設立された特別地方公共団体です。その役割は、貨物量・貿易黒字額日本一の国際総合港湾である名古屋港を維持・管理・発展させることにあります。中部圏というより、この国の産業を陰で支えていると言っても過言ではありません。また、大規模災害時に住民を守る地域防災にも力を入れております。このような公共性の高い業務を行っており、その中で山下氏は、建設部で技術的な役割を果たしております。中部圏が豊かであり、私たちが安心して暮らせるのも、名古屋港管理組合が様々な活動をされているからではないでしょうか。

職場紹介の中で印象的だったのが、受け持つ仕事の大きさが挙げられます。「普通では考えられないような現場を自分が管理できる。しかも、それを若いうちからやらせてもらえる」という言葉にあるように、入庁1年目から、責任ある仕事を任せていただけるとのことです。また、言葉の端々に公務員としての誇りを感じる場面がありました。非常に熱く自分の体験を語っていただけたこともあり、講演後学生たちから多くの質問がありました。これに対しても、一つひとつ丁寧に答えていただきました。

また、当日は、総務部職員課の石川昌幸主事にもご来校いただき、名古屋港管理組合の全体的な業務内容を丁寧に説明していただきました。

このような先輩の姿は、今から就職活動を始めようとする学生たちの刺激になるはずです。電気工学科の学生たちが自分たちの歩むべき道を決めるきっかけになることを期待しております。



山下氏の講演



質疑応答の様子



受講する学生たち